

監視フォルダ型CAD-PDF自動変換システム

# ZumenPDFserver

Ver.3.0

リリースノート

# ご使用にあたって

## 著作権について

●本書とソフトウェア及びそれらに記載されている内容は、著作権法によって保護されています。本書の内容の一部、または全部を株式会社マイクロアーツの書面による許可なく、複製、送信、情報検索のために保存すること、日本語以外の言語に翻訳することを禁じます。

●Microsoft、Windows、Windows NT、Ms Office は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

●Adobe、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。

●AutoCAD、AutoCAD LT は、米国 Autodesk, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

●一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

●Server Based Converter は、株式会社アンテナハウスの登録商標です。

●その他の会社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 製品の保証について

●ユーザが、本ソフトウェア及びマニュアルを使用することによって生じた、または使用できないことによって生じた全ての損害について、株式会社マイクロアーツ、またはその代理人が有形または無形の責任を負うことは一切ありません。

## 一般的な注意事項

●本書で使用している図版は、標準的な設定時の例を使用していますので、実際に「ZumenPDFserver」を運用しているときの画面とは、必ずしも一致しない場合があります。

●本書及びソフトウェアに記載されている事項は、将来改良等のため、予告なく変更される事があります。

— 目次 —

1. 機能追加・改善.....	1
2. 不具合修正.....	6
3. 制限事項解除.....	7
4. 制限事項.....	8
付録 リビジョンアップ履歴.....	11
改訂履歴.....	20

# 1. 機能追加・改善

---

- 1.1. [全エンジン共通] 投入用「IN」フォルダを任意のフォルダとできるように改善。  
投入用フォルダは個別監視フォルダ下の「IN」固定でしたが、監視ルートフォルダ下以外の場所にも対応しました。  
ただし、サーバマシンに接続された物理ドライブ上のフォルダである必要があります。ネットワークパスまたはネットワークドライブ上のフォルダは無効です。
- 1.2. [全エンジン共通] 変換後処理コマンド起動機能を追加。（無制限版のみ）  
変換処理終了後にユーザ任意のコマンドを起動するインタフェースを用意しました。  
他システムとの連携が容易になります。  
変換処理が正常時のみまたは異常時のみ起動するといった条件を設定でき、コマンドパラメータには変換後の PDF ファイル名や変換ステータス等の可変パラメータを指定できます。
- 1.3. [全エンジン共通] 変換終了メール送信機能を追加。（無制限版のみ）  
変換処理終了後にメール送信するインタフェースを用意しました。  
変換処理が正常時のみまたは異常時のみ送信するといった条件を設定でき、メールタイトルやメール本文には変換後の PDF ファイル名や変換ステータス等の可変パラメータを埋め込みできます。  
また、TO、CC、BCC には複数の宛先が指定でき、変換後の PDF ファイル等の変換に使用したファイル群をメールに自動添付することができます。
- 1.4. [全エンジン共通] 同時並行変換に対応。（無制限版のみ）  
マルチスレッド化による同時並行変換に対応しました。  
巨大な CAD ファイルによるシステム全体の処理停滞を回避できます。  
ハードウェア構成に適したパフォーマンスを発揮できるように、システム全体での最大スレッド数を指定できます。  
また、個別の監視フォルダ毎に最大のスレッド数を指定できますので、変換ファイル投入から変換完了までの追い越しを許可したくないといった制御が可能です。
- 1.5. [AutoCAD エンジン] AutoCAD 2011 及び AutoCAD LT2011 に対応。  
AutoCAD エンジンの対応ファイル形式が、AutoCAD R2.5 ～ AutoCAD 2011 及び AutoCAD LT95 ～ AutoCAD LT2011 で作成された DWG/DXF 形式のファイルとなりました。  
ただし、PDF ファイルの外部参照には未対応です。
- 1.6. [AutoCAD エンジン] 線色のカスタマイズ出力に対応。  
任意の線色による出力に対応しました。  
※ 本対応に伴い設定ファイルのモデル空間設定 ([Environment]) 及び各ペーパー空間設定 ([Layout#]) カテゴリに「線色の根拠」 (LineColorMode) 項目を追加しました。  
“CAD に従う” (-1) を指定した場合、これまで通り CAD 内で設定された線色で出力します。  
“要素に従う” (0) を指定した場合、要素の線色で出力します。

“CTB/STB ファイルに従う” (1)を指定した場合、「CTB/STB ファイル名」(PlotStyleFile)項目で指定された CTB/STB ファイルの線色で出力します。

“カスタム” (2)を指定した場合、「カスタム線色」(LineColor#)項目で指定された線色で出力します。

既定値は” CAD に従う” (-1)です。

※ 本対応に伴い設定ファイルのモデル空間設定([Environment])及び各ペーパー空間設定([Layout#])カテゴリに「カスタム線色」(LineColor#)項目を追加しました。

カスタム線色は線番号 1~255 に対して、それぞれ 10 進数表記のカラー値を設定します。

カラー値に-1 を指定された場合は、要素の線色を使用します。

既定値は-1 です。

#### 1.7. [AutoCAD エンジン] ベクタフォント無効時の代替方法を改善。

これまではベクタフォントのシングルフォントファイルが存在しない場合、TXT または SIMPLEX フォントに代替する設定を設けていましたが、新たに任意のベクタフォントを指定できる様に変更しました。

また、既定値ではベクタフォントでの代替をせずに、TrueType フォントへの代替としていましたが、SIMPLEX フォントへの代替を既定値とする様に変更しました。

※ 本対応に伴い設定ファイルの文字に関する設定([Environment])カテゴリの「ベクタフォント無効時の代替区分」(BadShxFontMode)項目を変更しました。

“代替しない” (0)を指定した場合、ベクタフォントへの代替をせずに、TrueType フォントへの代替となります。

“TXT フォント使用” (1)を指定した場合、TXT フォントへ代替します。

“SIMPLEX フォント使用” (2)を指定した場合、SIMPLEX フォントへ代替します。

“任意フォント使用” (3)を指定した場合、「ベクタフォント無効時の代替ベクタフォント名」(BadShxFontName)項目で指定されたベクタフォントへ代替します。

いずれの場合も警告ログが出力されます。

既定値は” SIMPLEX フォント使用” (2)です。

※ 本対応に伴い設定ファイルの文字に関する設定([Environment])カテゴリに「ベクタフォント無効時の代替ベクタフォント名」(BadShxFontName)項目を追加しました。

シングルベクタフォントファイル名を拡張子付きで設定します。

既定値はありません。

#### 1.8. [AutoCAD エンジン] プロキシオブジェクト展開エラー時の処理継続設定を新設。

これまではプロキシオブジェクト展開に失敗した場合にはエラーを無視していましたが、警告ログを出力し処理を継続するか、異常終了するか選択できる様に設定を追加しました。

※ 本対応に伴い設定ファイルのエラー設定([Error])カテゴリに「プロキシオブジェクト展開エラー処理継続区分」(ContinueProxyError)項目を追加しました。

“続行しない” (0)を指定した場合、変換エラーとし処理を中止します。

“続行する” (1)を指定した場合、警告ログを出力し処理を継続します。

既定値は” 続行しない” (0)です。

#### 1.9. [AutoCAD エンジン] 線種用シェイプファイル無し時の警告ログを出力。

これまで、線種用シェイプファイルが存在しない場合に警告ログを出力していませんでしたが、出力するように改善しました。

線種用シェイプファイルが存在しない場合の線種は実線となります。

#### 1.10. [AutoCAD エンジン] 線種用シェイプコード無し時の警告ログを出力。

これまで、線種用シェイプファイル内にシェイプコードが存在しない場合に警告ログを出力していませんでしたが、出力するように改善しました。  
線種用シェイプコードが存在しない場合の線種は実線となります。

1. 11. [AutoCAD エンジン] 文字用シェイプコード無し時の警告ログを出力。  
これまで、文字用シェイプファイル内にシェイプコードが存在しない場合に警告ログを出力していませんでしたが、出力するように改善しました。  
文字用シェイプコードが存在しない場合の文字は出力されません。
1. 12. [AutoCAD エンジン] 重複する警告ログの抑制。  
完全に重複する警告ログは1回のみ出力するようにしました。
1. 13. [Jw\_CAD エンジン] Jw\_cad for Windows Ver7 形式に対応。  
画像の同梱にも対応しました。
1. 14. [Jw\_CAD エンジン] TrueType フォント埋め込み許可無し時の代替方法改善。  
CAD 内で使用されている TrueType フォントに埋め込み許可が無く、代替をする場合、これまでは PDF フォントにより代替を行っていましたが、MS ゴシックまたは MS 明朝を埋め込んで代替出力する様に変更しました。
1. 15. [Jw\_CAD エンジン] 縦書きフォントに対応。  
@付きの縦書きフォントに対応しました。
1. 16. [Jw\_CAD エンジン] データ読み込み時の使用リソース低減。  
データ読み込み時のメモリ使用量を減らすように改善しました。
1. 17. [Jw\_cad エンジン] 長尺図面の自動縮小に対応。  
Jw\_cad で作成された長尺図面(10m、50m、100m)を自動で縮小できる様にしました。  
長尺それぞれのサイズに対して、縮小する用紙サイズとスケールを指定可能です。  
※ 本対応に伴い設定ファイルの用紙設定([Parameters])カテゴリに「長尺 10m 時の用紙サイズ区分」(SizeKind10m)項目を追加しました。  
長尺 10m 図面時の縮小用紙サイズを“縮小しない”(0)、“A5”(1)、“A4”(2)、“A3”(3)、“A2”(4)、“A1”(5)、“A0”(6)、“2A”(7)、“3A”(8)、“4A”(9)、“5A”(10)、“B5”(11)、“B4”(12)、“B3”(13)から選択します。  
既定値は”A1”(5)です。  
※ 本対応に伴い設定ファイルの用紙設定([Parameters])カテゴリに「長尺 50m 時の用紙サイズ区分」(SizeKind50m)項目を追加しました。  
長尺 50m 図面時の縮小用紙サイズを“縮小しない”(0)、“A5”(1)、“A4”(2)、“A3”(3)、“A2”(4)、“A1”(5)、“A0”(6)、“2A”(7)、“3A”(8)、“4A”(9)、“5A”(10)、“B5”(11)、“B4”(12)、“B3”(13)から選択します。  
既定値は”A1”(5)です。  
※ 本対応に伴い設定ファイルの用紙設定([Parameters])カテゴリに「長尺 100m 時の用紙サイズ区分」(SizeKind100m)項目を追加しました。  
長尺 100m 図面時の縮小用紙サイズを“縮小しない”(0)、“A5”(1)、“A4”(2)、“A3”(3)、“A2”(4)、“A1”(5)、“A0”(6)、“2A”(7)、“3A”(8)、“4A”(9)、“5A”(10)、“B5”(11)、“B4”(12)、“B3”(13)から選択します。

既定値は” A1” (5)です。

- ※ 本対応に伴い設定ファイルの用紙設定([Parameters])カテゴリに「長尺 10m 時の拡大／縮小率区分」(ScaleKind10m)項目を追加しました。

長尺 10m 図面時の拡大／縮小率を“200%” (0)、“141.42%” (1)、“100%” (2)、“70.71%” (3)、“50%” (4)、“35.36%” (5)、“25%” (6)、“任意” (7)、“図面範囲で自動計算” (8)、“要素範囲で自動計算” (9)から選択します。

“任意” (7)を指定した場合は、「長尺 10m 時の任意拡大／縮小率」(UserScale10m)項目で任意の拡大／縮小率を指定する必要があります。

“図面範囲で自動計算” (8)は、長尺の元サイズである 10m と「長尺 10m 時の用紙サイズ区分」(SizeKind10m)項目で指定された用紙サイズから縮小率を自動計算します。

“要素範囲で自動計算” (9)は、実際に長尺図面内に配置された図形要素の範囲と「長尺 10m 時の用紙サイズ区分」(SizeKind10m)項目で指定された用紙サイズから縮小率を自動計算します。

既定値は” 要素範囲で自動計算” (9)です。

- ※ 本対応に伴い設定ファイルの用紙設定([Parameters])カテゴリに「長尺 50m 時の拡大／縮小率区分」(ScaleKind50m)項目を追加しました。

長尺 50m 図面時の拡大／縮小率を“200%” (0)、“141.42%” (1)、“100%” (2)、“70.71%” (3)、“50%” (4)、“35.36%” (5)、“25%” (6)、“任意” (7)、“図面範囲で自動計算” (8)、“要素範囲で自動計算” (9)から選択します。

“任意” (7)を指定した場合は、「長尺 50m 時の任意拡大／縮小率」(UserScale50m)項目で任意の拡大／縮小率を指定する必要があります。

“図面範囲で自動計算” (8)は、長尺の元サイズである 50m と「長尺 50m 時の用紙サイズ区分」(SizeKind50m)項目で指定された用紙サイズから縮小率を自動計算します。

“要素範囲で自動計算” (9)は、実際に長尺図面内に配置された図形要素の範囲と「長尺 50m 時の用紙サイズ区分」(SizeKind50m)項目で指定された用紙サイズから縮小率を自動計算します。

既定値は” 要素範囲で自動計算” (9)です。

- ※ 本対応に伴い設定ファイルの用紙設定([Parameters])カテゴリに「長尺 100m 時の拡大／縮小率区分」(ScaleKind100m)項目を追加しました。

長尺 100m 図面時の拡大／縮小率を“200%” (0)、“141.42%” (1)、“100%” (2)、“70.71%” (3)、“50%” (4)、“35.36%” (5)、“25%” (6)、“任意” (7)、“図面範囲で自動計算” (8)、“要素範囲で自動計算” (9)から選択します。

“任意” (7)を指定した場合は、「長尺 100m 時の任意拡大／縮小率」(UserScale100m)項目で任意の拡大／縮小率を指定する必要があります。

“図面範囲で自動計算” (8)は、長尺の元サイズである 100m と「長尺 100m 時の用紙サイズ区分」(SizeKind100m)項目で指定された用紙サイズから縮小率を自動計算します。

“要素範囲で自動計算” (9)は、実際に長尺図面内に配置された図形要素の範囲と「長尺 100m 時の用紙サイズ区分」(SizeKind100m)項目で指定された用紙サイズから縮小率を自動計算します。

既定値は” 要素範囲で自動計算” (9)です。

- ※ 本対応に伴い設定ファイルの用紙設定([Parameters])カテゴリに「長尺 10m 時の任意拡大／縮小率」(UserScale10m)項目を追加しました。

「長尺 10m 時の拡大／縮小率区分」(ScaleKind10m)項目に“任意” (7)を指定された場合の任意の拡大／縮小率をパーセント単位で指定します。

既定値は 100%です。

- ※ 本対応に伴い設定ファイルの用紙設定([Parameters])カテゴリに「長尺 50m 時の任意拡大／縮小率」(UserScale50m)項目を追加しました。

「長尺 50m 時の拡大／縮小率区分」(ScaleKind50m)項目に“任意” (7)を指定された場合の任意の拡大／縮小率をパーセント単位で指定します。

既定値は 100%です。

※ 本対応に伴い設定ファイルの用紙設定([Parameters])カテゴリに「長尺 100m 時の任意拡大／縮小率」(UserScale100m)項目を追加しました。  
「長尺 100m 時の拡大／縮小率区分」(ScaleKind100m)項目に“任意”(7)を指定された場合の任意の拡大／縮小率をパーセント単位で指定します。  
既定値は 100%です。

## 2. 不具合修正

---

- 2.1. [AutoCAD エンジン] 一部の縦書き TrueType フォントを使用したデータが、希に変換エラーとなる不具合に対応。
- 2.2. [AutoCAD エンジン] %記号を使用した文字コード入力で、コード 128 以降で入力された文字が正しく変換されない不具合に対応。
- 2.3. [AutoCAD エンジン] 文字要素に STB 印刷スタイルが適用されない不具合に対応。
- 2.4. [AutoCAD エンジン] 不可視のブロック属性文字が出力されてしまう不具合に対応。
- 2.5. [AutoCAD エンジン] ベクタフォントを使用したブロック属性文字に余分な点出力されてしまう不具合に対応。
- 2.6. [AutoCAD エンジン] 一部の特殊線種で線の途切れや長すぎて出力されてしまう場合がある不具合に対応。
- 2.7. [AutoCAD エンジン] ビューポートの 0 レイヤがフリーズ設定されている場合、ブロック属性文字が出力されない不具合に対応。
- 2.8. [AutoCAD エンジン] ブロック属性定義の定数属性文字が出力されない不具合に対応。
- 2.9. [AutoCAD エンジン] 非印刷の XCLIP フレームが出力されてしまう場合がある不具合に対応。
- 2.10. [AutoCAD エンジン] 制御点の少ないスプラインが若干短くなって出力されてしまう場合がある不具合に対応。
- 2.11. [Jw\_cad エンジン] QR コードが出力されない場合がある不具合に対応。
- 2.12. [Jw\_cad エンジン] ブロック内に制御文字を使用した文字図形が存在する場合に正しく変換されない不具合に対応。
- 2.13. [Jw\_cad エンジン] 変換が異常終了した際に 0 バイトの PDF ファイルが残ってしまう不具合に対応。
- 2.14. [Jw\_cad エンジン] SXF 拡張線を使用していて、JWW の点半径を使用しない場合にアプリケーションエラーとなる不具合に対応。

### 3. 制限事項解除

---

本リビジョンでの制限事項解除項目はありません。

## 4. 制限事項

---

本リビジョンにおける制限事項は以下の通りです。

### 4.1. AutoCAD エンジン対応データ形式

本リビジョンでは AutoCAD の以下の形式に対応しています。

AutoCAD R2.5 ~ AutoCAD 2011 及び AutoCAD LT95 ~ AutoCAD LT2011 で作成された DWG/DXF 形式のファイル。

AutoCAD R14 以前及び AutoCAD LT98 以前のデータの場合に、まれに変換できない場合があります。

### 4.2. AutoCAD エンジン未対応要素

本リビジョンでは AutoCAD の以下の要素には対応していません。

- Express Tools で作成された図形
- PDF ファイルの外部参照

未対応要素を検知した場合、警告ログを出力し、警告付き終了コードで終了します。

### 4.3. AutoCAD エンジン仕様補足

- シェイプフォントは付属していません。
- 3次元視点には未対応です。
- AutoCAD2008 で作成された異種尺度オブジェクト及びレイアウト別レイヤには未対応です。
- ブロック図形のネストは最大 100 個です。
- 外部参照ファイルの階層は最大 10 段です。
- 出力用紙の最大は縦横 5m です。

### 4.4. AutoCAD エンジン変換 PDF と AutoCAD 表示との相違点

本リビジョンで変換した PDF は AutoCAD 表示と以下の相違点があります。

#### ○線種

- システム変数「PSLTSCALE」が 0 の場合、ペーパー空間で線種が反映されず、破線が実線となる場合があります。
- 破線の書き出し位置が AutoCAD と異なる場合があります。
- DOT 線種でパターン長が円周より長い場合の円は、ドットの個数が AutoCAD と一致

しません。

#### ○マルチテキスト

- ・ 縦書き時の折り返し位置や行開始位置がずれる場合があります。
- ・ 縦書き時のアンダーライン、オーバーラインは未対応です。
- ・ ダブ、段落機能には未対応です。
- ・ 縦書き時のフォントの組み合わせによっては、AutoCAD と描画が異なる場合があります。
- ・ 文字種、文字揃えによっては、文字の開始位置や折り返し位置が若干ずれる場合があります。

#### ○引出線と寸法線

- ・ 引出線、寸法線の端点「小黑丸」のサイズは「小空白丸」と同じサイズで出力されます。
- ・ 寸法線のユーザ矢印には未対応です。
- ・ スプラインの引き出し線の場合に、引出線分の曲がり方が逆方向になることがあります。
- ・ 線太さを有する寸法線の各線分要素の丸い端形状が四角形となります。

#### ○スプライン

- ・ 点となるスプラインは未対応です。
- ・ 制御点が極端に少ないスプラインはポリライン描画となります。
- ・ 制御点のフィット許容差は未対応です。

#### ○フルカラー

- ・ テキスト及びマルチテキスト文字列の一部にフルカラーを指定した場合、近似色での描画となります。
- ・ ハッチのグラデーションは単色の塗りつぶしになります。

#### 4.5. AutoCAD 印刷スタイルテーブルファイル(CTB/STB)の未対応項目

本リリースでは AutoCAD 印刷スタイルテーブルファイルである CTB/STB ファイルの以下の項目には対応していません。

- ・ グレースケール
- ・ ペン番号、仮想ペン番号
- ・ 適応調節
- ・ 線の端部スタイル
- ・ 線の結合部スタイル
- ・ 塗り潰しスタイル

#### 4.6. Jw\_CAD エンジン対応データ形式

本リリースでは Jw\_CAD の以下の形式に対応しています。

Jw\_cad DOS 版 ~ Jw\_cad for Windows Ver7 で作成された JWW/JWC 形式のファイル。  
Jw\_cad for Windows Ver2.3 以前で作成された JWW 形式のファイルには未対応です。

#### 4.7. Jw\_CAD エンジン未対応要素

本リリースでは Jw\_CAD の以下の要素には対応していません。

- ・ ハッチングレイヤ

未対応要素を検知した場合、警告ログは出力せず、正常終了コードで終了します。

#### 4.8. Jw\_CAD エンジン仕様補足

- ・ 出力用紙の最大は縦横 5m です。
- ・ BMP、PNG、JPG、TIF、GIF 以外のイメージファイルの変換には、Susie プラグインが必要です。  
Jw\_CAD エンジンと同じフォルダに配置して下さい。

#### 4.9. 画像エンジン対応画像形式

本リリースでは以下の画像形式に対応しています。

GDI+で読み込み可能な BMP/JPG/TIF/PNG/GIF 形式のファイル。

# 付録 リビジョンアップ履歴

---

## Ver. 1.2 → Ver. 1.2.1

- ・ [AutoCAD エンジン] R12J 形式以前の DXF ファイルで一部の文字が化ける不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] R12J 形式以前の DWG/DXF ファイルで一部のポリラインが欠ける不具合に対応

## Ver. 1.2.1 → Ver. 1.2.2

- ・ [AutoCAD エンジン] 文字列同士が近い場合に AdobeAcrobat 及び AdobeReader が繋がった文字と認識してしまう問題に対応

## Ver. 1.2.2 → Ver. 1.2.3

- ・ [全エンジン共通] 設定ツールの「フォルダ設定」ダイアログにて、PDF 出力先フォルダをネットワークパスとした際に、指定したアカウント及びパスワードによるネットワークログインに対応
- ・ [全エンジン共通] 設定ツールの「フォルダ設定」ダイアログにて、PDF 出力先フォルダをネットワークパスとした際に、指定したアカウント及びパスワードによるネットワークログインに対応
- ・ [全エンジン共通] 設定ツールの「Log 管理」ダイアログにて、選択した複数ログファイルの一括削除に対応
- ・ [全エンジン共通] 各種 CAD ファイルが参照するラスターイメージのフルパス名が長い（約 200 バイト以上）場合に、生成した PDF が Adobe 社の Acrobat Professional Ver.7 で開けない不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] CTB ファイルの「線色」項目で RGB 値で指定した TrueColor に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] CTB ファイルの「濃淡度」項目に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 設定ファイルの「基本ベクタフォント格納フォルダ名」及び「追加ベクタフォント格納フォルダ名」にてフォルダ名の最後に” ¥” を付加しないとベクタフォントを認識しない不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] ベクタフォントを使用したマルチテキストで空の改行を使用した際、改行間隔が詰まる不具合に対応

- [AutoCAD エンジン] 文字上下位置調整値を設定している場合に、文字線種(GAS ライン等)の文字配置位置が大きくずれる場合がある不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] マルチテキストが異なるレイヤに出力される場合がある不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 文字幅係数が 3 より大きな値を使用しているベクタ (シェイプ) フォント以外の文字変換でエラーとなる不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 一部のマルチテキストがベクタフォントで変換されない不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 文字列中に半角と全角の文字が混在している場合に文字列幅が実際より大きくなる不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 縦書きのプロポーショナルフォントを使用した際に字間が詰まる不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] ハッチングで文字領域の境界を除外している場合、文字領域が塗り潰されてしまう不具合に対応
- [SXF エンジン] 各種フィーチャー重複時に、続行する仕様を変更
- [SXF エンジン] SFC/P21 ファイルが参照するラスターイメージの透過設定を行った場合に、変換一時フォルダ下に一時ファイルが削除されずに残る不具合に対応
- [SXF エンジン] 用紙サイズの縮尺変更を行った場合に、ハッチのパターンサイズが不正となる不具合に対応
- [SXF エンジン] 「AREA\_CONTROL」ハッチが黒く塗りつぶされる不具合に対応
- [Jw\_CAD エンジン] スタンプ機能に対応
- [Jw\_CAD エンジン] 円弧要素変換時のメモリ消費量を抑えるように改善
- [Jw\_CAD エンジン] JWW/JWC ファイルが参照するイメージファイルを白黒化またはグレースケール化して変換する機能を追加
- [Jw\_CAD エンジン] JWW/JWC ファイルが参照するイメージファイルの形式が JPG・PNG・TIF・GIF の場合、Susie プラグインではなく、GDI+を使用するように変更
- [Jw\_CAD エンジン] ブロック図形が削除された場合に、他のブロック図形が変換されない場合がある不具合に対応
- [Jw\_CAD エンジン] SXF 線種を使用しているファイルフォーマット 351 以前のファイルで変換エラーとなる不具合に対応
- [Jw\_CAD エンジン] JWC ファイルに貼り付けられているイメージが変換後、サイズが異なる場合がある不具合に対応
- [Jw\_CAD エンジン] 一部の不正な寸法データを含む JWW ファイルで変換エラーとなる不具合に対応

## Ver. 1.2.3 → Ver. 2.0.0

- [全エンジン共通] Windows Vista に対応
- [AutoCAD エンジン] AutoCAD2007/AutoCAD LT2007 形式に対応
- [AutoCAD エンジン] STB ファイルに対応

- [AutoCAD エンジン] 未対応要素の一部 (OLE オブジェクト、3D サーフェス、メッシュ、ワイプアウト、幾何公差) 解消
- [AutoCAD エンジン] モノクロイメージのイメージ色変更に対応
- [AutoCAD エンジン] イメージの透過区分をより詳細指定できる様に改善
- [AutoCAD エンジン] 「MS ゴシック・明朝系もフォントを統一」した場合、マルチテキストも文字サイズ調整対象とする様に改善
- [AutoCAD エンジン] 「画像解像度最適化区分」に“自動調整”モードを追加
- [AutoCAD エンジン] 複雑なパターンの線種(構成が 11 項目以上)を使用した変換で PDF が開けない不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 一つの文字データ内に”^”文字が 2 個以上存在し、ベクタフォントを使用しない変換にて変換が終了しない不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 文字スタイルにビックフォントを使用し、ベクタフォントを使用する変換にて「°」「±」「φ」文字の文字幅が広がる不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] ブロック階層が複雑な場合にレイヤの表示/非表示属性が正しく反映されない場合がある不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] ベクタフォントを使用した属性要素及び一部のマルチテキスト要素が検索対象とならない不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] マルチテキストをベクタフォント以外で出力し、文字サイズ調整を行っている場合、文字基点が左以外の文字位置がずれる不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 縦書きフォントにて半角スペースを使用している場合にスペース幅が広がる不具合に対応
- [Jw\_CAD エンジン] Jw\_cad の設定で「実点を指定半径(mm)でプリンタ出力」が指定されていない場合の点半径初期値を線幅と同じ(直径で線幅の倍)にするように改善
- [Jw\_CAD エンジン] 拡大/縮小出力時に線幅スケールの追従条件を Jw\_cad と併せるように改善
- [Jw\_CAD エンジン] JWW ファイル中に不正な線分がある場合、変換された PDF を AdobeReader 上で印刷する際にエラーとなる場合がある不具合に対応
- [Jw\_CAD エンジン] JWW ファイルバージョン 351 より古い形式のデータで、図形が太く(ページ全体を埋め尽くす場合有り)変換される不具合に対応
- [Jw\_CAD エンジン] 寸法図形の線と文字属性を個別に設定した際に正しく反映されない不具合に対応
- [Jw\_CAD エンジン] イメージファイルを白黒化した際にエラーとなる場合がある不具合に対応
- [Jw\_CAD エンジン] イメージファイル形式が BMP・JPG・PNG・TIF・GIF 以外の Susie プラグインを使用した変換で、画像が上下逆になる不具合に対応
- [MS-Office エンジン] オプションでマイクロソフト社の MS-Office 形式ファイル (Word, Excel, PowerPoint) に対応
- [一太郎エンジン] オプションでジャストシステム社の一太郎形式ファイルに対応

## Ver. 2.0.0 → Ver. 2.1.0

- ・ [全エンジン共通] クライアントPC用「変換設定編集ツール」付属
- ・ [全エンジン共通] 変換設定ファイル編集がグラフィカルユーザインタフェースで行える様に改善
- ・ [全エンジン共通] 連結変換時のファイル名ソート方法を拡張
- ・ [全エンジン共通] 連結変換時のリストファイル指定で、リストファイルに無いファイルが存在してもエラーとしない設定を追加
- ・ [AutoCAD エンジン] XCLIP に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 外部参照ファイルを使用し、「ベクタフォント文字を検索対象」とした際に警告エラーとなり、文字が重複して出力される不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 非常に細かい線種ピッチの場合、変換した PDF を印刷した際に当該要素が印刷されない場合がある不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] ソリッド図形の 2 点目と 3 点目が同一点である場合、ソリッドの形状が正しくない不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 極稀にハッチパターンにより島内部までハッチングされる場合がある不具合に対応
- ・ [Jw\_CAD エンジン] 背景色と同じ SXF 線色反転出力に対応
- ・ [Jw\_CAD エンジン] べき乗記号(^)を含んだ文字列の一部が変換されない不具合に対応

## Ver. 2.1.0 → Ver. 2.1.2

- ・ [AutoCAD エンジン] ベクタフォントを使用し、先頭が全角スペースで始まる文字位置がずれる場合がある不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] MS ゴシック、MS 明朝系以外の縦書きフォントで横書きとなる不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 貼り付けたモノクロイメージの色設定を変更し、透過有りとした場合に変換した PDF が AdobeReader にて開けない不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 一部のハッチングが塗り潰された状態となる不具合に対応
- ・ [Jw\_CAD エンジン] 用紙サイズを縮小した際にランダム線が途中で切れる場合がある不具合に対応

## Ver. 2.1.2 → Ver. 2.2

- ・ [MS-Office エンジン] Office2007 変換オプションを追加
- ・ [全エンジン共通] ライセンスチェック機能を追加

- ・ [AutoCAD エンジン] MAC バイナリ形式のラスタイメージに対応
- ・ [AutoCAD エンジン]縦書きフォントを使用した半角文字の向きが正しく変換されない不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 円弧・ポリライン・スプラインを含む要素で構成されるビューポート付きのペーパー空間をレイヤ付きで変換した際、AdobeReader8.0 でページ全体が表示されない不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン]用紙境界にかかる回転させたイメージが出力されない場合がある不具合に対応
- ・ [Jw\_CAD エンジン] Jw\_cad for Windows Ver6 形式に対応
- ・ [Jw\_CAD エンジン] すべての文字属性制御及び均等割付文字に対応

## Ver. 2.2 → Ver. 2.3

- ・ [全エンジン共通] 変換順序を厳密にチェックする様に改善
- ・ [全エンジン共通] 本サービスの連続稼動により、システムリソースを消費し、枯渇状態になる不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] AutoCAD 2009 及び AutoCAD LT2009 に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] マルチテキストの文字間隔に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 「ペーパー空間を最後に印刷」に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] レイアウト毎の用紙サイズを統一する際の例外設定を新設
- ・ [AutoCAD エンジン] CTB/STB ファイルを適用する際の例外設定を新設
- ・ [AutoCAD エンジン] リージョン要素に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 3Dソリッド要素に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] ボディ要素に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] プロキシ要素に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 円弧に沿った文字に対応
- ・ [AutoCAD エンジン]ワイプアウト要素のフレーム表示属性が正しく適用されない不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] モノクロラスターデータを貼り付けた図面で、イメージ色区分を”白黒”とした際、稀にラスターがカラー出力される場合がある不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] ラスターデータを大量に貼り付けた図面で、変換エラーとなる場合がある不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 線幅を0ミリとした場合に、最小線幅ではなく、オブジェクトの線幅に従うようになっていた不具合に対応
- ・ [AutoCAD エンジン] 設定ファイルのエラー処理設定([Error])カテゴリの「ハッチング優先展開処理使用有無」(HatchExplode)項目にて”使用する”(1)とした場合に、ハッチングの塗り潰しが稀に異なる色となる場合がある不具合に対応

- [AutoCAD エンジン] ミラーリングした縦書き文字が稀に正しく変換されない場合がある不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 多数のビューポートを使用した図面で、変換時間が異常に遅い場合がある不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] ワイプアウトを組み合わせたブロック属性定義文字が出力されない不具合に対応

## Ver. 2.3 → Ver. 2.4

- [AutoCAD エンジン] TrueType フォントの出力に対応
- [AutoCAD エンジン] CTB/STB ファイルが存在しない場合の処理継続設定を新設
- [AutoCAD エンジン] ページサイズが不正な場合の処理継続設定を新設
- [AutoCAD エンジン] 破線の書き出し位置が AutoCAD に近くなるように改善
- [AutoCAD エンジン] CAD ファイル読み込み時の区分設定を新設
- [AutoCAD エンジン] AutoCAD バージョンによるベクタフォント表示方法の違いに対応
- [AutoCAD エンジン] ベクタフォントに存在しない文字コードの出力を改善
- [Jw\_cad エンジン] TrueType フォントの出力に対応
- [Jw\_cad エンジン] 画像トリミングに対応
- [Jw\_cad エンジン] 端点の形状に対応
- [Jw\_cad エンジン] 1 ドット以下の線幅を 1 ドットに切り上げる設定を新設
- [Jw\_cad エンジン] 画像ファイルが無い場合に処理を継続する設定を新設
- [Jw\_cad エンジン] %文字定義ファイルが無い場合に処理を継続する設定を新設
- [AutoCAD エンジン] Windows2008 環境にてラスタイメージを含むデータの変換がエラーとなる不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] ビックフォントを使用した一部の文字の組み合わせにより、希に文字化けする不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] ベクタフォント文字に線種が適用されてしまう不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] ベクタフォント縦書き文字スタイルで文字間隔を指定した際、文字位置が正しく変換されない不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] ベクタフォントで作成され、ベクタフォントを使用しない変換を行った際、一部の UNICODE 文字が文字化けする場合がある不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] TrueType フォントを使用したマルチテキストが希に自動改行されない場合がある不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 縦書き TrueType フォント文字の文字高さが 1 未満の場合、文字位置が正しく変換されない不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 希に幾何公差要素が正しく変換されない場合がある不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] 希に引出線・マルチ引出線要素が正しく変換されない場合がある不具合

に対応

- [AutoCAD エンジン]一部のデータでペーパー空間の線種ピッチが正しくない場合がある不具合に対応
- [AutoCAD エンジン]一部のデータでプロキシオブジェクトの文字スタイルが正しくない場合がある不具合に対応
- [Jw\_cad エンジン] Jw\_cad にて DXF/SXF より JWW 化した一部のファイルで線幅や点の大きさが不正となる不具合に対応
- [Jw\_cad エンジン] 反転ブロック内の文字位置が不正となる不具合に対応
- [AutoCAD エンジン] TrueType フォントの埋め込みに対応
- [Jw\_cad エンジン] TrueType フォントの埋め込みに対応





# 改訂履歴

---

2006年 7月 31日	Ver1.2.1 リビジョンアップ
2006年 8月 18日	Ver1.2.2 リビジョンアップ
2006年 12月 8日	Ver1.2.3 リビジョンアップ
2007年 8月 1日	Ver2.0.0 バージョンアップ
2007年 11月 30日	Ver2.1.0 リビジョンアップ
2008年 3月 3日	Ver2.1.2 リビジョンアップ
2008年 5月 15日	Ver2.2.0 リビジョンアップ
2008年 9月 16日	Ver2.3.0 リビジョンアップ
2009年 12月 21日	Ver2.4.0 リビジョンアップ
2012年 3月 28日	Ver3.0.1 バージョンアップ



[www.microarts.jp](http://www.microarts.jp)

## **ZumenPDFserver Ver3.0 リリースノート**

---

発行 2012年3月

**株式会社 マイクロアーツ**

〒965-0872 福島県会津若松市東栄町1-14